

### 1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成21年11月17日

#### 【評価実施概要】

事業所番号	2871600603		
法人名	社会福祉法人 千鳥会		
事業所名	グループホーム しおさい		
所在地	兵庫県淡路市郡家字居屋敷374番地1 (電話) 0799-80-5050		
評価機関名	特定非営利活動法人 姫路市介護サービス第三者評価機構		
所在地	兵庫県姫路市安田三丁目1番地 姫路市自治福祉会館6階		
訪問調査日	平成21年10月27日	評価確定日	平成21年11月17日

#### 【情報提供票より】(平成21年10月9日事業所記入)

##### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成16年 4月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 14人, 非常勤4人, 常勤換算	16.5人

##### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2階建ての	1 ~ 2 階部分	

##### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000 円	その他の経費(月額)	約15,000 円
敷金	有( ) 円) 無( )		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( ) 円) 無( )	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	170 円	昼食 430 円
	夕食	500 円	おやつ 100 円
	または1日当たり		1,200 円

##### (4) 利用者の概要(10月9日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	17 名
要介護1	0	要介護2	3	
要介護3	12	要介護4	3	
要介護5	0	要支援2	0	
年齢	平均 84.8 歳	最低	74 歳	95 歳

##### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 順心会 津名病院
---------	---------------

#### 【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

潮騒の香りに包まれた海辺に面して建てられたグループホームで、玄関前の畑には季節の野菜や花が植えられ、尻尾を振った愛犬ポチが出迎えてくれる。ホームの中では、入居者が活動的に動き、明るい声が響いている。毎日の日課の散歩を中心に地域との交流が途切れなく行われており、理念でもある地域に溶け込んだ生活が営まれていることを、肌で感じることができる。また、入居者それぞれが持っている力を自然に発揮できるような声掛けや支援ができており、生き活きと役割を持って生活でき、家庭的な雰囲気のホームである。

#### 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4) 前回の評価時は、日中も施錠したケアを行っていたが、出来ることからの取り組みとして、散歩時の開錠を実施し、更にセンサーを設置したことで、入居者の動きを把握して、入居者の自由な生活への取り組みが始まっている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4) 職員会議で、自己評価や第三者評価の意義や目的についての理解を深めた上で、全職員で分担して自己評価に取り組み、ユニットリーダーがまとめて作成した。この評価を自分達のケアの見直す機会とし、地域との繋がりの重要性を再確認出来ている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6) 運営推進会議は、2ヶ月毎に市職員・民生委員・町内会長・社会福祉協議会職員・家族代表・利用者代表・職員などを参加者とし、定期的開催できている。会議では、ホームでの活動状況や入居者の様子・待機人数などの報告をしたり、地域からの情報をいただいたりしている。回数を重ねる毎に、地域との理解度が増し、入居者へのサービス向上に結びついている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8) 利用料の支払いに、毎月家族が来訪されている。その機会に日頃の様子を報告し、家族の意見や苦情を伺うよう声を掛けている。意見箱を設置しているが、寄せられる意見はほとんどないので、直接家族に活用を働きかけ、喜びや感謝の意見を頂き始めた状況である。意見や苦情をいろいろ話してもらえ関係作りや雰囲気作りに配慮している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3) 地域の活動に職員や入居者共に出来るだけ参加したり、近隣の人が訪れてもらえるように芋ほりや消防訓練などへの参加を呼びかけたりして、一緒に行えている。毎日の散歩や公民館活動などへの参加などで、地域との交流が日常化し、いい関係作りが進んでいる。今後は、認知症ケアの専門性を発揮され、地域へ還元されることを期待したい。

## 2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を理解した上で、少しでも地域の中での生活が出来るように、「しおさい利用者の思いや意欲を大切に、地域住民の交流の元、サービスの質の向上を目指しいつも笑顔で支援します」との理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝礼で理念を唱和して、理念の共有を図り、実際の家庭的なケアについて、職員で意見交換しながら、日常生活の中で理念が具体的に実施出来るよう取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩で近所の人から声を掛けていただく関係が出来てきており、自治会や公民館活動に参加したり、近くの高校や小学校行事に招待されたり来ていただいたり広く交流が図れている。今年は、全島掃除に午前6時から職員が参加している。		地域とのつながりも深まり、交流も図れて来ているので、今後は認知症ケアの専門性を発揮され、地域への働きかけをホームから行うことで、更なる認知症の理解等の地域への還元に取り組まれてみてはどうか？
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員会議で自己評価や第三者評価の意義や目的を充分理解した上で、全職員で分担して自己評価に取り組み、ユニットリーダーがまとめ作成した。この評価を自分達のケアを見直す機会とし、地域との繋がりの重要性を再確認した。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、2ヶ月毎に市職員・民生委員・町内会長・社会福祉協議会職員・家族代表・入居者代表・職員を参加者とし、定期的開催している。会議では、ホームの活動の状況や入居者の様子・待機人数などの報告を行ったり、地域からの情報をいただいたりしている。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市主催通所会議や市の担当者とのメールや広報誌の配布時などに、情報交換や連絡を行っている。また今後は、同法人の他事業所担当者と定期的に市へ報告に行く事を検討されている。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>利用料の支払いに毎月家族は来所されており、その際に入居者の日々の様子や金銭管理の報告などを、直接行っている。また、健康状態の報告については、看護師から書面で行っている。</p>		<p>来所された家族への報告は出来ているが、他の家族などへの伝達には、書面で行うことなどでより正確な状況報告を目指されてはどうか？</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族が来訪時に意見をいただくようになっているが、苦情はあまりない。玄関に意見箱が設置してあるが寄せられる意見は少ないため、直接家族に意見箱の活用を働きかけたところ、喜びや感謝の意見がいただけた。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動や離職については、決まった時点でできるだけ早く体制を整え、入居者にダメージを及ぼさないよう気を付けている。次の職員への引継ぎ期間を設けたり、新人職員には、1ヶ月間他職員と一緒に担当をするなど配慮している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員から直接研修希望を聞き、年間の計画を作成し、実施している。法人内での研修にも参加できている。外部の研修には、希望があれば勤務時間の調整等の協力も行っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>新しくできた、他事業所からの見学を受け入れて意見交換するなどは行っているが、昨年発足した同業者の連絡会は、中断している。近くのグループホームとは、意見交換したり交流を図っている。</p>		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族と本人に、直接ホームへ来ていただいて見学したり、昼食を一緒にたべたり、一日体験やデイサービスの利用をしたり、と少しでも馴染んでもらえるよう働きかけをしている。玄関前に畑を作っていることで、施設的なイメージを和らげている。また、家族やケアマネジャー等から、今までの生活の様子を聞き、早く馴染めるよう努力している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者を人生の大先輩として接する中で、料理や洗濯・畑仕事などを一緒に行ない、支援しながら、家族のようにいろいろ教えて頂いている。また、「ありがとうございます」と感謝の言葉を伝えたり、出来ることを気持ち良く行ってもらえるよう声掛けを行ったりして、お互いが協働して過ごし支え合っている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者の日常生活の様子の中で、ふとした言葉や行動から意向や希望を感じ取るよう努めている。また、家族と入居者との会話の中などからも気づくことが多く、職員一人の気づきが共有出来るようにも対応している。</p>		
<b>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族の、ホームでの生活に対する思いや意向を充分聞いた上で、担当職員・計画作成者・管理者・看護師・可能であれば家族などで検討し、その人らしく暮らせるための計画書を作成している。職員に分かりやすいよう、勤務時間毎の職員が実施しやすい記載になっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>日々の介護計画実施記録や2ヶ月毎のモニタリングをもとに評価を行い、最低6ヶ月の期間で見直しを行っている。途中で、入院や新しい課題発生時は随時、関係者との話し合いを持ち、計画の見直しを行っている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>共用型デイサービスを実施しており、料理を一緒に行ったり、日常生活の支援を希望される利用者を、1日2～3人受け入れている。更に、実際の実施には至っていないが、ショートステイの体制も整えている。また、家族の都合によって、通院の代行も柔軟に行っている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援  利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望を聞き、入居前のかかりつけ医を半数の人が継続されており、家族が受診を行っている。受診時は、看護師からの日常の様子を記載した書面で病院へ状況を伝えるようにし、直接病院と連絡を取ったりして連携に努めている。協力病院や近隣の医院との連携も図れており、往診や24時間の相談体制も作り上げている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームでの対応の限界を、経口摂取が不能になったり、一般浴槽のまたぎが困難になった時とし、入居時から説明している。時期を見て早めから家族との話し合いを持ち、出来るだけ希望に沿うような対応を、職員とも検討しながら実施している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	接遇委員会を設置し、言葉使いや対応などについての目標を決め、お互いに注意しながら意識を高めている。記録物はファイルラックワゴン(移動式ラック)に置き、名前など見えない配慮もされている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の思いを確認しながら、無理強いすることなく、その人のペースに寄り添いながら、ゆっくり過ごせるよう努めている。散歩経路にある食堂への外食を希望されて、行けるよう配慮したり、寒い日に起床しにくい人には、朝食を遅らせたりと対応している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好や食べたい物の希望を聞きながら、リーダーが献立を作成し、食材は配達してもらうが、料理はそれぞれの入居者が出来ることを助け合いながら3食作っており、職員も一緒に会話を楽しみながら摂取している。また、片付けも洗う人・拭く人・片付ける人と手際良く職員が支援しながら実施できている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	午後の入浴を行っており、入居者の希望やタイミングを計りながら、一人ずつゆっくり入浴出来る支援をしている。拒否のある人も、最低週2回は入浴出来るよう、日時を変えて声を掛け支援できている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴や日頃の様子を充分アセスメントした上で、入居者それぞれが持つ得意な活動が、自然に出来、力が発揮出来るよう支援している。入居者が弾くピアノに合わせて歌を歌ったり、計算ができたり、草引きをもくもくと行ったりされている。数日前には、近隣の人にも来られ全員で芋ほりを楽しんだ。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	雨の日以外は毎日、海岸通りやホーム周辺のコースを散歩している。また、月間の行事計画などに外出の機会を位置づけたり、近くのサロンや公民館などへの外出も多く取り入れている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室の掃きだし窓は開放しているが、玄関の鍵に対しては、安全性を重視して施錠するようになっていた。鍵をかけないケアへの取り組みを段階的に目指し、現在は散歩時に開錠を行っている。また、新しくセンサーを設置して実際の入居者の動きの把握に取り組みされている。		入居者の状況や職員体制を考慮しながら、安全性の確保を行い、入居者の自由な暮らしへの支援を模索して欲しい。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回消防署の協力を得て、防災訓練を行っている。夜間を想定しての避難訓練や近隣の方々との放水訓練なども行っている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>入居者一人ひとりの使用するコップ(湯のみ・マグカップ)の量を計り、1日の食事や水分摂取量を全員分、毎日記録し、1日1,000ml~1,500mlの目標量の摂取に積極的に取り組まれている。献立はリーダーが作成しているが、偏りがないよう品数を増やし、管理者も含めてバランスの確認を行っている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間には、季節感漂う飾り物や作品があり、広い窓からは明るい日差しと心地よい風が吹き、居心地良い生活の場になっている。また、居間からは目前に広がる海が見え、玄関の前の畑にはベンチが複数置かれている。更に玄関には、愛犬ポチが散歩を待って、尻尾を振っている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室の入り口には、氏名や住所・郵便受けなどがあり、室内には、使い慣れたタンスや椅子などが置かれている。また、家族の写真や葉書・手作りの作品などが飾られており、安心して居心地良く過ごせる工夫がされている。</p>		

 は、重点項目。